

2021年度 第3四半期 決算概要

I. 2021年度 第3四半期累計 連結業績概要 2021年度 第3四半期 連結業績概要

II. 2021年度 通期 連結業績予想・配当

III. 補足資料

シャープ株式会社

2022年2月8日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 第3四半期累計の売上高と各利益は、いずれも前年同期を上回り、経常利益は1.9倍、最終利益は1.7倍の大幅な増益となる
- ・ 第3四半期は、サプライチェーンの混乱が続いた影響もあり、営業利益が前年同期を下回ったものの、経常利益は2.4倍、最終利益は1.6倍となる
- ・ 白物家電は、原材料価格高騰の影響があるなか2桁の利益率を維持、ディスプレイデバイスは、モデルミックスの改善により前年同期比2.5倍の利益を計上
- ・ 第3四半期までの進捗と足もとの状況を反映し、通期予想を修正売上高・営業利益を下方修正、経常利益・最終利益を上方修正
- ・ 2021年度の配当金は、最終利益の伸長などを考慮し、2020年度の30円から10円の増配となる1株当たり40円を予定

SHARP

1

- ・ まずは、連結業績の概要です。
- ・ 第3四半期までの累計の売上高と各利益は、いずれも前年同期を上回り、経常利益は1.9倍、最終利益は1.7倍の大幅な増益となりました。
- ・ 第3四半期は、サプライチェーンの混乱が続いた影響もあり、営業利益が前年同期を下回ったものの、経常利益は2.4倍、最終利益は1.6倍となっております。
- ・ 白物家電は、原材料が高騰した影響はあったものの、2桁の利益率を維持しており、ディスプレイデバイスは、モデルミックスの改善により、前年同期比2.5倍の利益を計上しております。
- ・ なお、第3四半期までの進捗と足もとの状況を反映し、2021年度 通期の業績予想を修正しております。売上高と営業利益を下方修正、経常利益と最終利益を上方修正しております。
- ・ 2021年度の配当金については、最終利益の伸長などを考慮し、2020年度の30円から10円の増配となる 1株当たり40円とさせていただきます。

I . 2021年度 第3四半期累計 連結業績概要

2021年度 第3四半期 連結業績概要

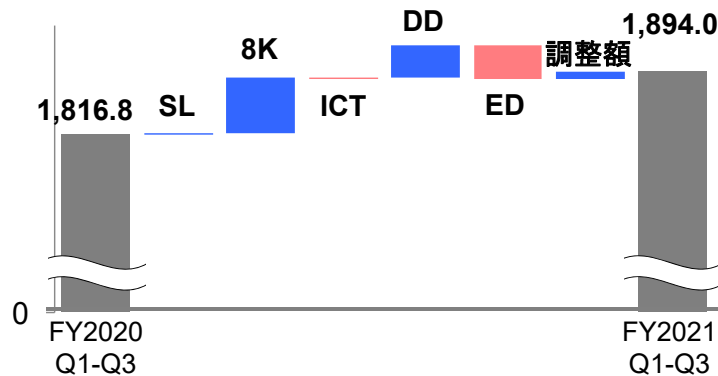
- ・ それでは、第3四半期までの実績について、ご説明させていただきます。

2021年度 第3四半期累計 連結業績概要

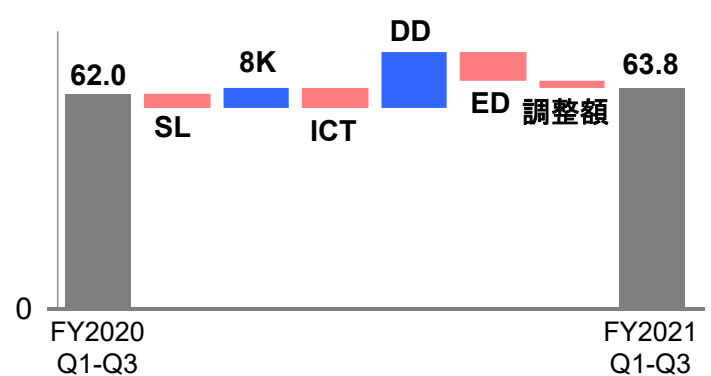
(単位:十億円)

	2020年度	2021年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
売上高	1,816.8	1,894.0	+4.2%
営業利益	62.0 (3.4%)	63.8 (3.4%)	+3.0%
経常利益	43.8 (2.4%)	84.6 (4.5%)	+93.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41.1 (2.3%)	70.8 (3.7%)	+72.2%
平均為替レート			
ドル円	105.11	110.10	
ユーロ円	120.87	129.12	

売上高



営業利益



SHARP

3

- 次のスライドをご覧ください。
2021年度 第1四半期から第3四半期までの累計の業績数値です。
- 売上高は、前年同期比 4.2%増の 1兆8,940億円となりました。
- 利益につきましては、
営業利益が 3.0%増の 638億円、
経常利益が 1.9倍の 846億円、
最終利益が 1.7倍の 708億円となりました。

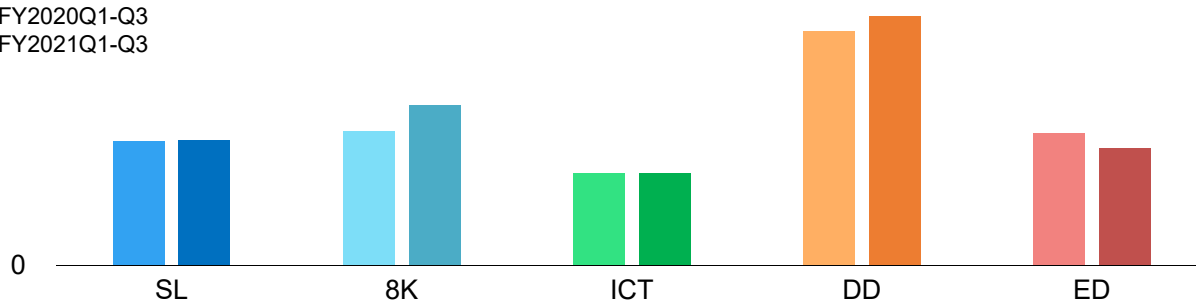
(第3四半期累計)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
スマートライフ	329.7	331.2	+0.5%
8Kエコシステム	355.4	425.0	+19.6%
ICT	245.7	244.3	-0.6%
ブランド事業計	930.8	1,000.6	+7.5%
ディスプレイデバイス	619.0	658.6	+6.4%
エレクトロニックデバイス	351.3	309.6	-11.9%
デバイス事業計	970.4	968.2	-0.2%
小計	1,901.2	1,968.9	+3.6%
調整額	-84.4	-74.8	-
合計	1,816.8	1,894.0	+4.2%

左棒: FY2020Q1-Q3

右棒: FY2021Q1-Q3



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

4

- ・ 次は、第3四半期 累計のセグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 7.5%増の 1兆6億円、デバイス事業は 0.2%減の 9,682億円となりました。

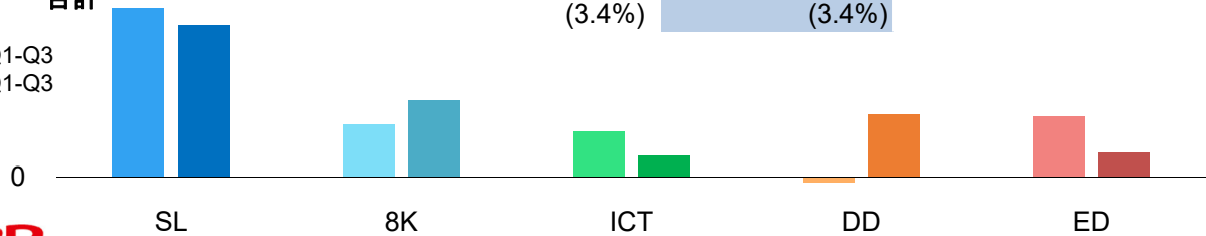
(第3四半期累計)セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
スマートライフ	40.3 (12.2%)	36.1 (10.9%)	-10.5%
8Kエコシステム	12.5 (3.5%)	18.3 (4.3%)	+46.8%
ICT	11.0 (4.5%)	5.3 (2.2%)	-51.8%
ブランド事業	63.9 (6.9%)	59.8 (6.0%)	-6.4%
ディスプレイデバイス	-1.2 (-0.2%)	14.9 (2.3%)	-
エレクトロニックデバイス	14.5 (4.1%)	6.0 (1.9%)	-58.4%
デバイス事業	13.2 (1.4%)	20.9 (2.2%)	+58.2%
小計	77.2 (4.1%)	80.8 (4.1%)	+4.7%
調整額	-15.1	-16.9	-
合計	62.0 (3.4%)	63.8 (3.4%)	+3.0%

左棒: FY2020Q1-Q3
右棒: FY2021Q1-Q3



SHARP

5

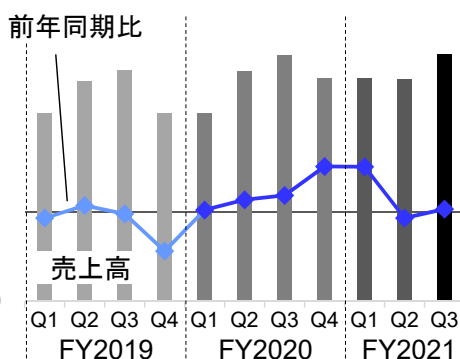
- ・ 次のスライドは、第3四半期 累計のセグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業の営業利益は 前年同期比 6.4%減の 598億円、デバイス事業は58.2%増の 209億円となりました。

2021年度 第3四半期 連結業績概要

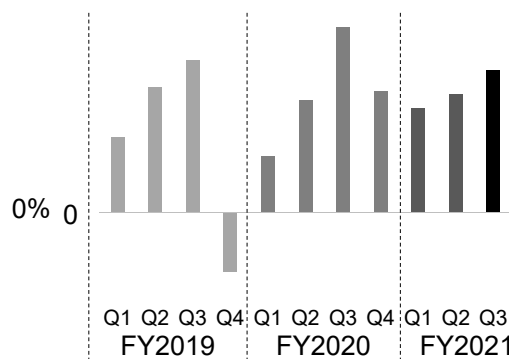
(単位:十億円)

	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	675.8	+0.4%
営業利益	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	-23.2%
経常利益	11.2 (2.2%)	18.5 (3.0%)	13.9 (2.1%)	19.3 (3.2%)	25.6 (4.2%)	25.2 (4.2%)	33.7 (5.0%)	+141.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1 (1.6%)	15.5 (2.5%)	17.3 (2.6%)	12.1 (2.0%)	21.6 (3.5%)	20.8 (3.4%)	28.3 (4.2%)	+63.0%
平均為替レート								
ドル円	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49	109.11	112.71	
ユーロ円	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45	128.33	128.57	

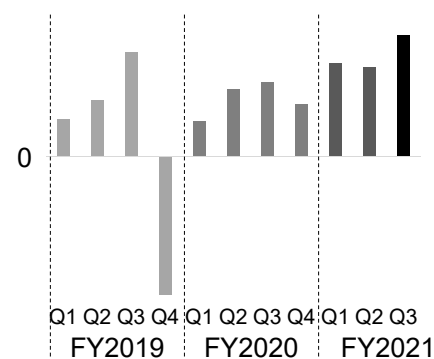
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益

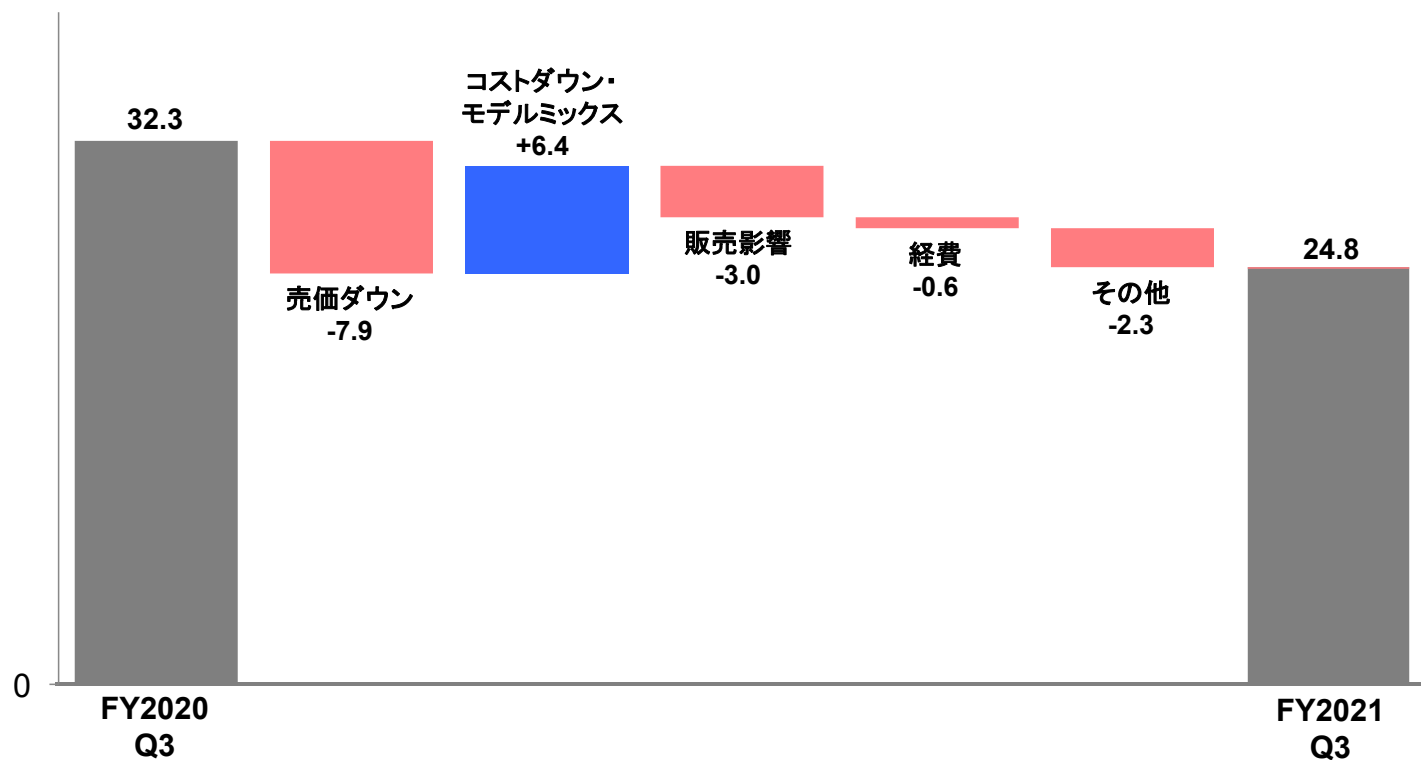


SHARP

- ・ 続いては、2021年度 第3四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 0.4%増の 6,758億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 23.2%減の 248億円、
経常利益が 2.4倍の 337億円、
最終利益が 1.6倍の 283億円となりました。

(第3四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)



SHARP

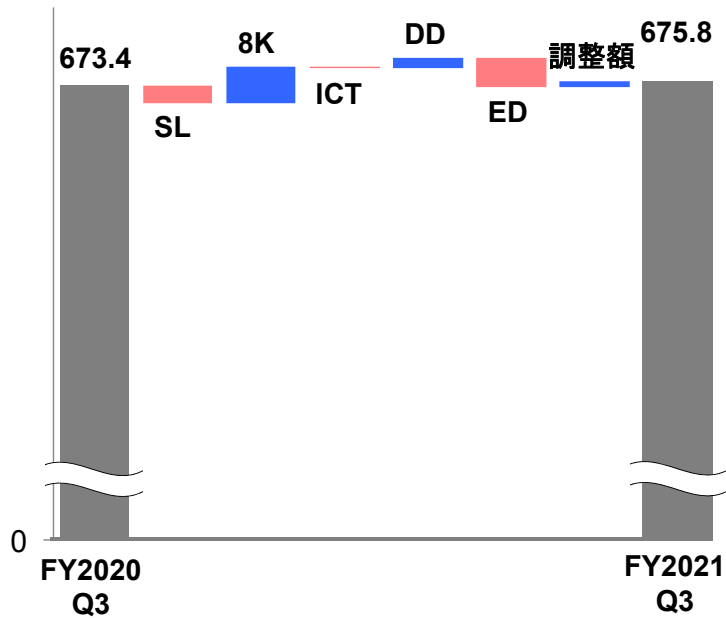
7

- ・ 次のグラフは、2021年度 第3四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。
- ・ 2021年度 第3四半期は、「売価ダウン」による 79億円の収益の減少、「コストダウン・モデルミックス」による 64億円の収益の改善、「販売影響」による 30億円の利益の減少、「経費」の増加による 6億円の利益の減少などがありました。

(第3四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

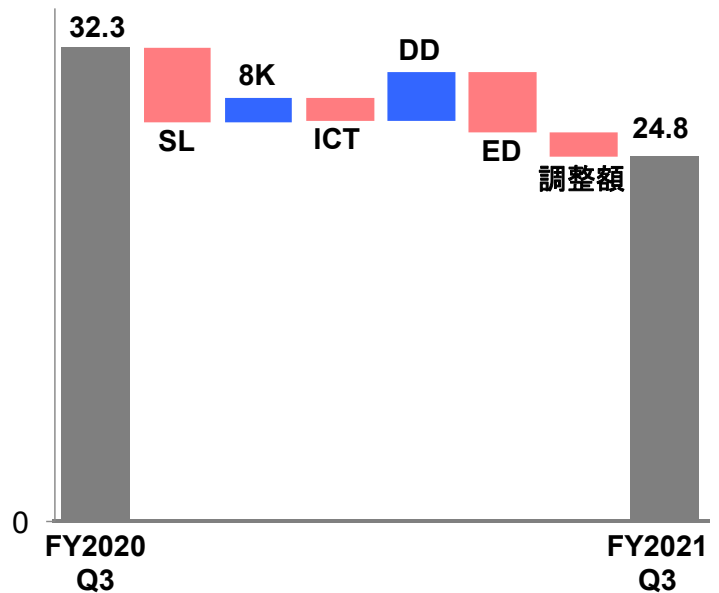
売上高

(単位:十億円)



営業利益

(単位:十億円)



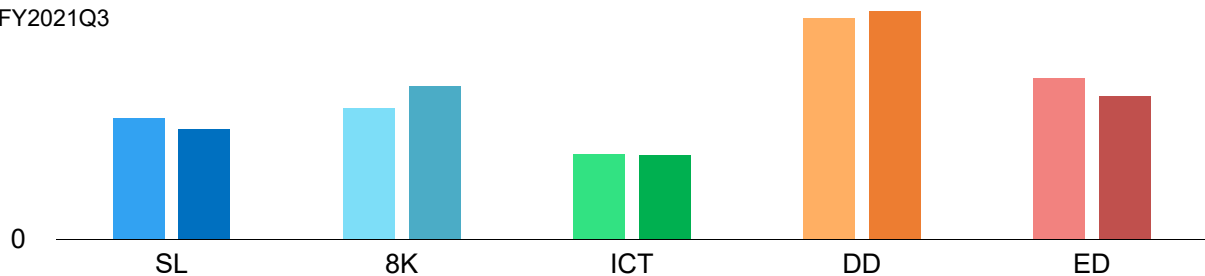
- ・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。
- ・ 2021年度の第3四半期は、売上高は、8Kエコシステムとディスプレイデバイスが増収となり、営業利益でも、8Kエコシステムとディスプレイデバイスが増益となっております。

(第3四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9	107.3	-8.8%
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5	148.9	+16.9%
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8	82.2	-1.1%
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7	333.3	338.5	+3.1%
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4	221.8	+2.8%
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5	139.5	-11.2%
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8	297.0	361.3	-3.1%
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6	630.3	699.9	-0.2%
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0	-23.7	-24.0	-
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	675.8	+0.4%

左棒：FY2020Q3
右棒：FY2021Q3



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

9

- ・ 次のスライドは、第3四半期のセグメント別売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 3.1%増の 3,385億円、デバイス事業は 3.1%減の 3,613億円となっております。

ブランド事業の海外における販売は順調に伸長しており、新型コロナウイルスの影響がなかった2019年度の第3四半期に対しても、増収となっております。

(第3四半期)セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度			前同比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	-30.6%
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	+31.8%
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-41.6%
ブランド事業	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)	-19.6%
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	+147.8%
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	-41.9%
デバイス事業	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)	-6.1%
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)	-15.3%
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9	-4.8	-7.1	-
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	-23.2%

左棒: FY2020Q3
右棒: FY2021Q3

SHARP



10

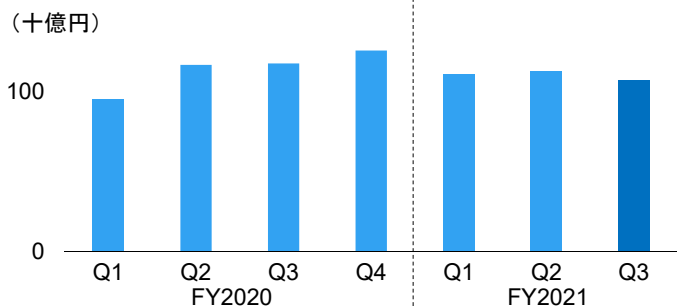
- ・ 続いては、第3四半期のセグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業の営業利益は 前年同期比 19.6%減の 207億円、デバイス事業は 6.1%減の 112億円となりました。

前年同期比では減益となっておりますが
第2四半期比では、ブランド事業・デバイス事業とも増益となっております。

また、第2四半期に赤字となっていたエレクトロニックデバイスが
生産の正常化に伴って黒字化し、
第3四半期は、5セグメント全てが黒字となっております。

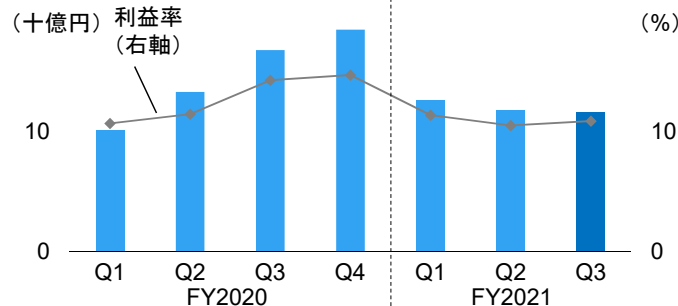
(単位:十億円)	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9	107.3	-8.8%
営業利益	10.1	13.3	16.8	18.5	12.6	11.8	11.6	-30.6%
(利益率)	(10.7%)	(11.5%)	(14.3%)	(14.7%)	(11.4%)	(10.5%)	(10.9%)	

売上高(減収)



- (減) 国内のプラズマクラスターが、特殊要因もあり2倍以上の伸長となった前年同期に対し、減収(一昨年比では増収)
- (減) エネルギーソリューション事業で半導体不足の影響
- (増) 欧米でビルトイン調理器などが伸長
- (増) アジアでエアコン・洗濯機などが好調
- (増) 国内のEPC事業の売上が増加

営業利益(減益)



- (減) 販売減
- (減) 半導体・原材料などの価格が高騰
- (増) 収益力の向上



・ 次のスライドをご覧ください。セグメント毎の概況になります。
まずは、スマートライフです。

・ 売上高は、前年同期比 8.8%減の 1,073億円となりました。

白物家電事業は、減収となりました。

欧米の調理家電やアジアのエアコン・洗濯機などは伸長したものの、国内のプラズマクラスターが、2倍以上の伸びとなった前年同期に対し、減収となったことなどによるものです。

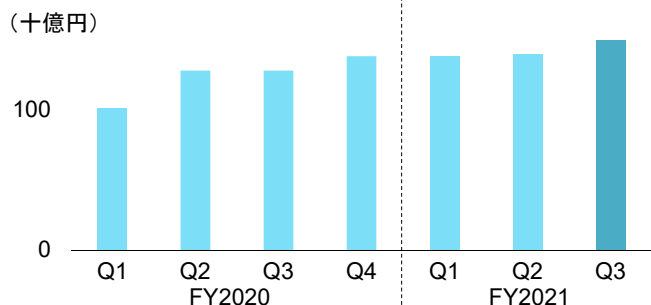
また、エネルギーソリューション事業は、半導体不足の影響により、減収となっております。

・ 営業利益は、30.6%減の 116億円となりました。

減収となったことに加え、半導体や原材料の価格が高騰した影響もありましたが、第3四半期も、引き続き 10%を超える高い利益率を維持できております。

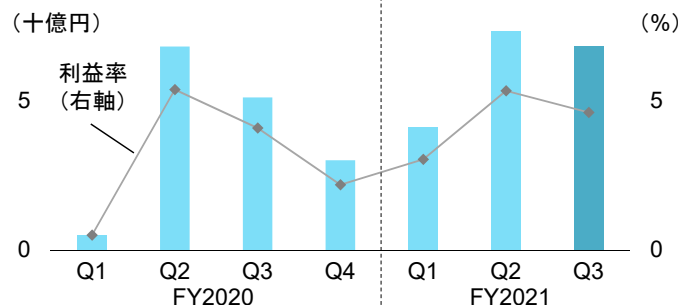
(単位:十億円)	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5	148.9	+16.9%
営業利益	0.5	6.8	5.1	3.0	4.1	7.3	6.8	+31.8%
(利益率)	(0.5%)	(5.4%)	(4.1%)	(2.2%)	(3.0%)	(5.3%)	(4.6%)	

売上高(増収)



- (増) 欧州・アジアなどでテレビが伸長
- (増) 米州や欧州でMFP事業が伸長
- (増) 欧米などでスマートオフィス事業が堅調
- (増) SNDS※の連結効果
- (減) 欧米向けなどで物流隘路の影響

営業利益(増益)



- (増) 販売増
- (増) 欧州などでテレビの高付加価値化が進展
- (増) MFP事業でプリントボリュームが回復
- (減) 半導体・原材料価格の上昇
- (減) 物流コストの増加

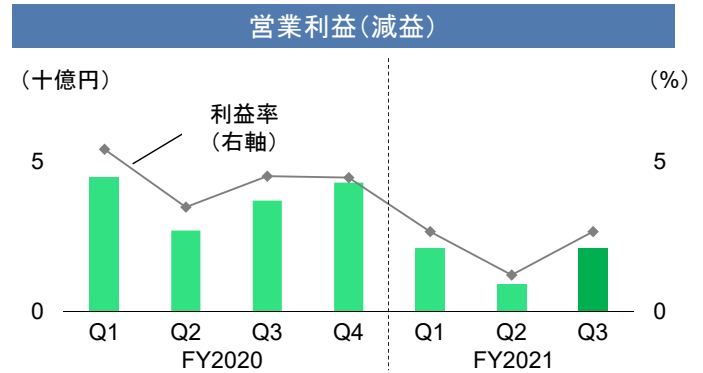
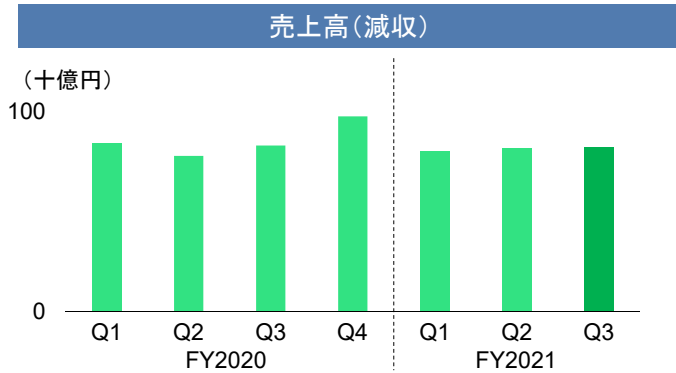
※ シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社



- ・ 次は、8Kエコシステムです。
- ・ 売上高は、前年同期比 16.9%増の 1,489億円となりました。
欧州やアジアでテレビが伸長したこと、米州や欧州でMFP事業の売上が増加したこと、シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社を連結した効果があったことなどから、増収となりました。
- ・ 営業利益は、31.8%増の 68億円となりました。
売上が伸長したことに加え、欧州でテレビの高付加価値化が進んだこと、MFP事業でプリントボリュームが回復したことなどもあり、増益となりました。

各事業とも順調に回復しており、サプライチェーンが混乱し、半導体価格や原材料価格、物流コストも上昇するなか、増収増益とすることができました。

(単位:十億円)	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8	82.2	-1.1%
営業利益 (利益率)	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-41.6%



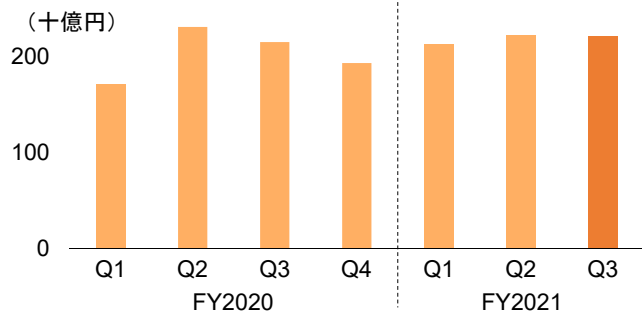
(減) 半導体隘路の影響
 (減) PC事業で国内GIGAスクール需要が一服
 (増) PC事業でアジアの法人向けなどが伸長

(減) 半導体などの価格が上昇
 (減) 販売減

- ・ 次のスライドをご覧ください。ICTになります。
- ・ 売上高は、前年同期比 1.1%減の 822億円となりました。
 アジアの法人向けPC事業などが伸長したものの、
 通信事業で半導体隘路の影響が大きかったこと、
 GIGAスクール構想に伴う国内のPC需要が一服したことなどから、
 減収となりました。
- ・ 営業利益は、半導体などの価格が上昇したことから、
 41.6%減の 21億円となりました。
 なお、通信事業・PC事業ともに、第2四半期から増益となっております。

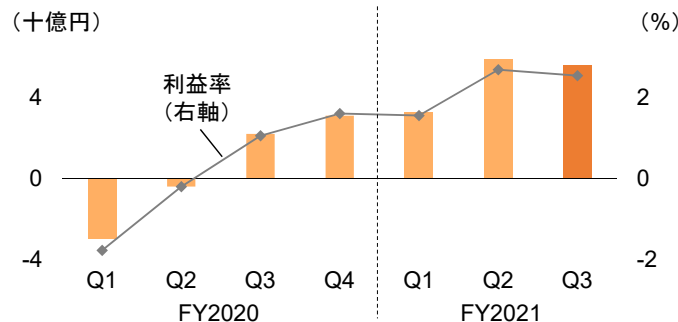
(単位:十億円)	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4	221.8	+2.8%
営業利益 (利益率)	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	+147.8%

売上高(増収)



- (増) PC・タブレット向けが伸長
- (増) 車載向けパネルも引き続き堅調
- (減) スマホ向けが減少
- (減) 半導体隘路の影響

営業利益(増益)

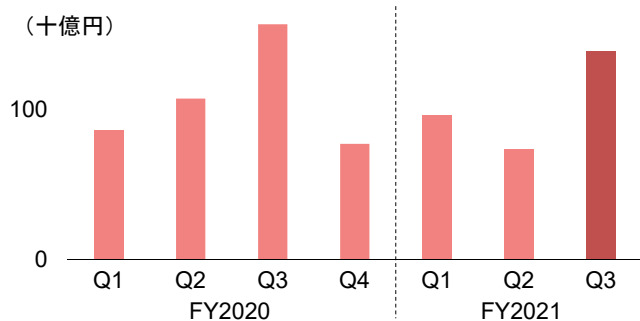


- (増) 中型パネルの販売増などモデルミックスの改善
- (減) 半導体などの価格が上昇

- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 2.8%増の 2,218億円となりました。
スマートフォン向けの小型パネルの販売が減少した一方、車載向けやPC・タブレット向けなど中型パネルが伸長しました。
- ・ 営業利益は、販売に占める中型パネルの比率が上昇するなど、引き続き、モデルミックスの改善が進んでいることもあり、前年同期比2.5倍の 56億円となりました。

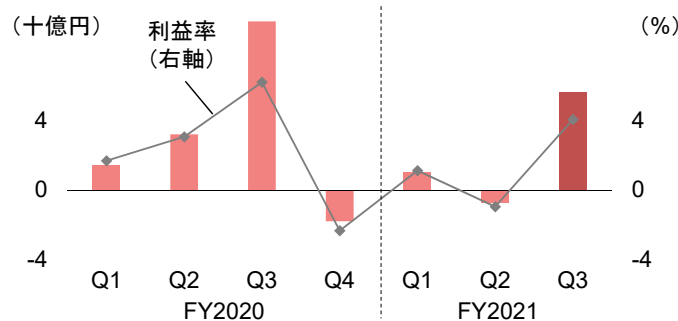
(単位:十億円)	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5	139.5	-11.2%
営業利益	1.4	3.2	9.7	-1.8	1.0	-0.7	5.6	-41.9%
(利益率)	(1.7%)	(3.1%)	(6.2%)	(-2.3%)	(1.1%)	(-1.0%)	(4.1%)	

売上高(減収)



(減) Q3期初、新型コロナウイルスによる生産への影響が残る
(現在は正常化)

営業利益(減益)



(減) 販売減
(Q2比では大幅な増収、営業利益も黒字化)

- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、前年同期比 11.2%減の 1,395億円となりました。
現在は正常化しているものの、第3四半期の期初まで新型コロナウイルスによる生産への影響が残っていたこともあり、減収となりました。
- ・ 営業利益は、減収となったことから、41.9%減の56億円となりました。

前年同期比では、減収減益となりましたが、
第2四半期からは、大幅な増収となっており、営業利益も63億円改善して黒字化しております。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同 増減額
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3	20.6	24.8	-7.5
営業外損益	+1.4	-1.1	-18.3	-1.7	+7.2	+4.5	+8.8	+27.1
内:支払利息	-1.2	-1.5	-1.3	-1.3	-1.3	-1.1	-1.1	+0.2
為替差損益	+2.2	+1.3	+0.8	+1.0	+3.2	+3.7	+5.5	+4.7
持分法による投資損益	-0.6	-2.8	-15.3	+2.1	+4.3	+2.3	-1.3	+14.0
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6	25.2	33.7	+19.8
特別損益	-0.2	-0.1	+8.6	-4.9	+0.7	+0.8	-1.9	-10.5
内:固定資産売却益	+2.8	-	+2.6	+0.1	+0.1	+0.4	+2.3	-0.3
事業譲渡益	-	-	-	-	-	-	+5.9	+5.9
固定資産受贈益	-	-	+6.1	+0.5	+0.7	+0.5	-	-6.1
減損損失	-0.8	-0.1	-0.1	-5.2	-	-	-7.7	-7.6
和解金	-	-	-	-	-	-	-2.7	-2.7
税前利益	11.0	18.4	22.5	14.3	26.3	26.0	31.8	+9.3
法人税等 他	-2.8	-2.8	-5.1	-2.2	-4.6	-5.2	-3.4	+1.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6	20.8	28.3	+11.0

SHARP

16

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2021年度の第3四半期には、特別利益として59億円の事業譲渡益、特別損失として77億円の減損損失などがありました。

連結貸借対照表推移

- 第3四半期末の現預金は 2,433億円、純資産は 4,345億円、自己資本比率は 21.4%となる

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度			2020年度	2021年度	
	3月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末
現預金	341.9	261.5	243.3	買掛金等	396.4	403.6	459.0
売掛金等	457.6	461.0	553.5	短期借入金	163.0	82.4	73.0
棚卸資産	263.0	311.6	316.4	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	126.1	119.9	122.5	その他	326.1	337.6	322.4
流動資産計	1,188.7	1,154.2	1,235.9	流動負債計	885.5	823.7	854.6
有形固定資産	438.4	443.5	434.3	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	45.1	43.5	42.6	長期借入金	561.8	569.4	570.8
投資その他資産	254.8	254.1	255.2	その他	115.6	110.2	108.1
固定資産計	738.4	741.2	732.3	固定負債計	677.5	679.7	679.0
資産合計	1,927.2	1,895.5	1,968.2	純資産	364.1	392.0	434.5
				負債純資産合計	1,927.2	1,895.5	1,968.2
期末日レート							
ドル円	109.72	110.95	114.02	自己資本比率	18.2%	20.0%	21.4%
ユーロ円	128.26	128.40	129.02	自己資本	350.3	379.3	421.2

SHARP

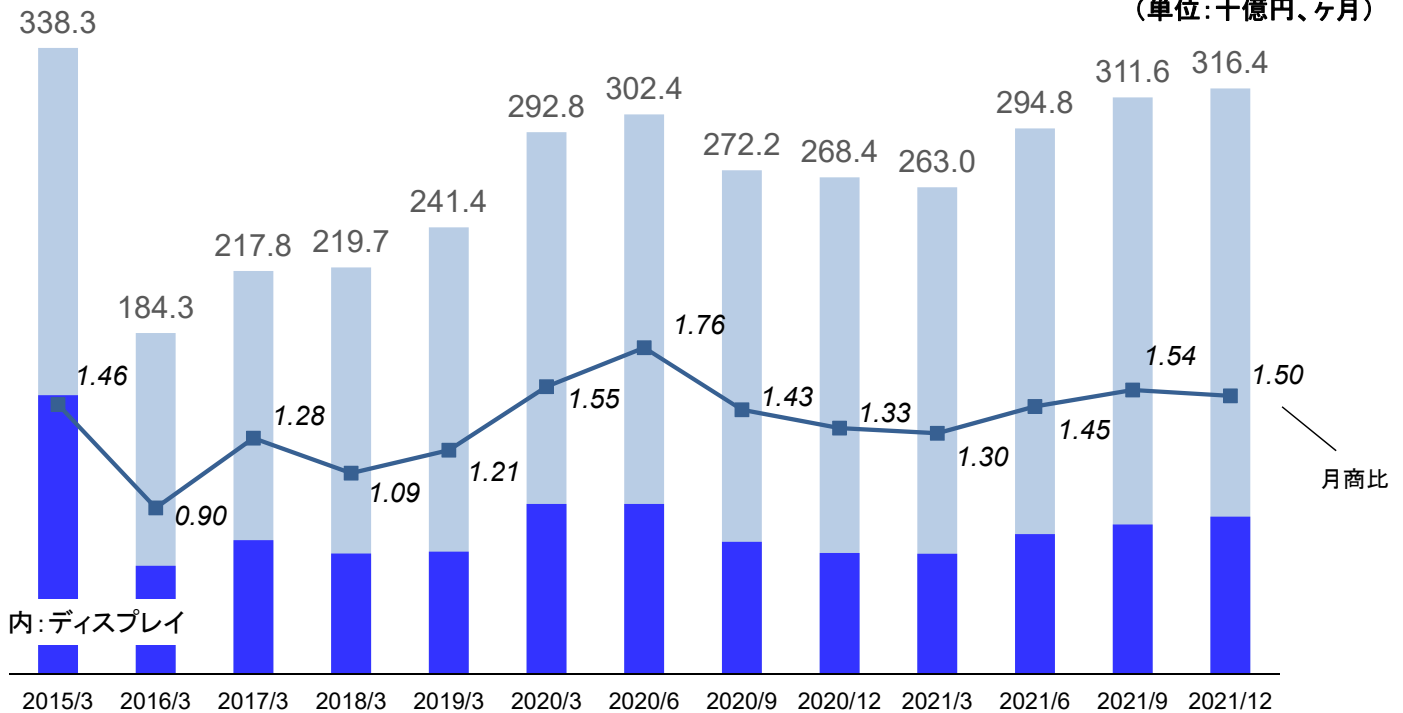
17

- 続いては、貸借対照表の推移です。
 - 第2四半期比で売上が大幅に伸長し、売掛金が925億円増加していることから、「現預金」は、9月末の 2,615億円に対し、182億円減少し、2,433億円となりました。
- 業績が堅調に推移し、着実に最終利益を計上していることから、「純資産」は 3,920億円に対し、4,345億円に、「自己資本比率」は 20.0%に対し、21.4%に、それぞれ上昇しております。

棚卸資産の推移

- ・棚卸資産は、2021年9月末比 48億円増の 3,164億円、月商比は、0.04ヶ月減の 1.50ヶ月
- ・サプライチェーンの混乱に対応し、生産活動に必要となる半導体などを先行手配するとともに販売に支障をきたさぬよう物流の長期化を勘案した在庫の確保を行う
- ・引き続き、事業環境の変化を注視し、状況に応じた適正な在庫の管理に努める

(単位:十億円、ヶ月)



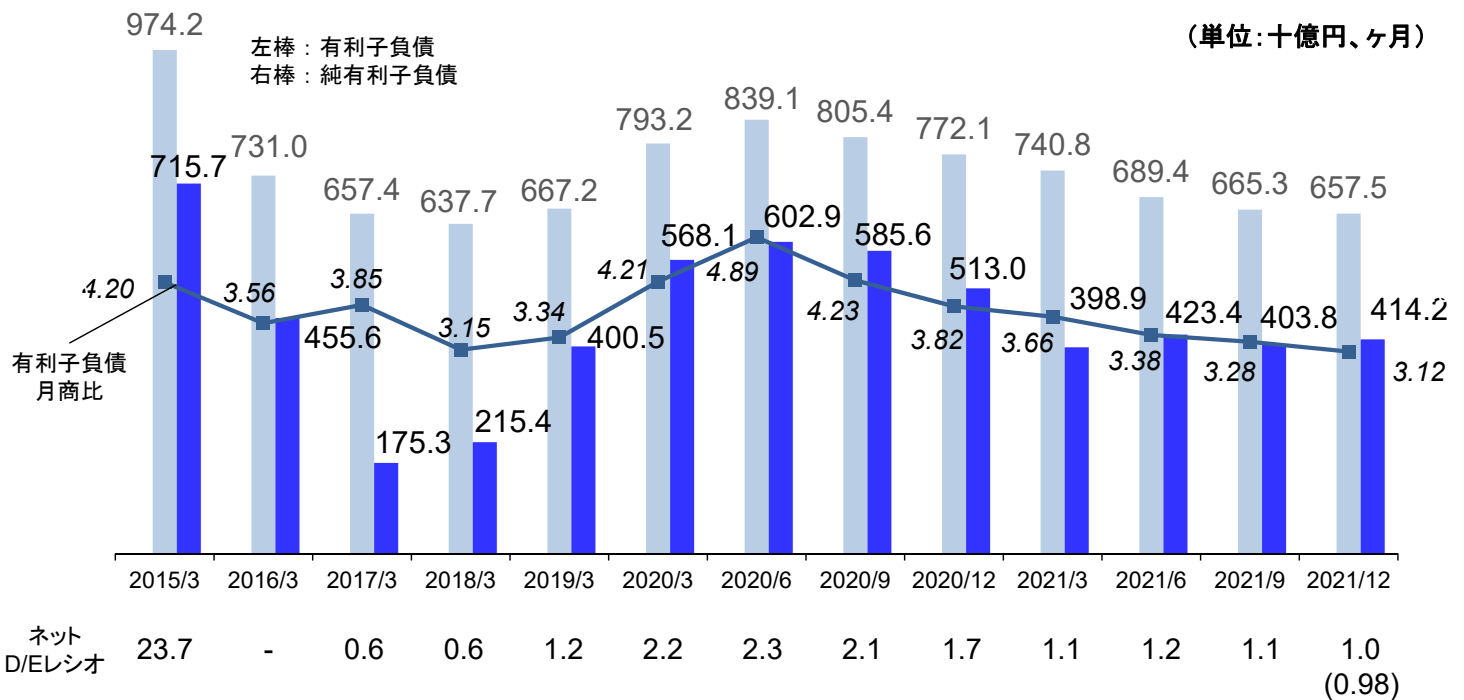
- ・ 次のスライドをご覧ください。「棚卸資産」の推移になります。
- ・ 2021年12月末の「棚卸資産」は、9月末から 48億円増の3,164億円に、月商比では 0.04ヶ月減の1.50ヶ月になりました。

サプライチェーンが混乱していることから、生産活動に必要となる半導体などを先行手配するとともに、販売に支障をきたさぬよう物流の長期化を勘案した在庫の確保を行っています。

- ・ 引き続き、事業環境の変化を注視し、状況に応じた適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2021年9月末比 78億円減の 6,575億円、月商比は、0.16ヶ月減の 3.12ヶ月
- ・純有利子負債※は、104億円増の 4,142億円
- ・ネットD/Eレシオは、0.98倍となり、当面の目標であった1.0倍を下回る水準に



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

19

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2021年12月末の有利子負債は、9月末から 78億円減の6,575億円に、月商比では、0.16ヶ月減の3.12ヶ月になりました。純有利子負債は、9月末の 4,038億円に対し、4,142億円になっています。
- ・ なお、ネットD/Eレシオが、0.98倍となり、当面の目標としていた1.0倍を下回る水準となっております。
- ・ 今後とも、事業成長と財務体質の改善の両立を図ってまいります。

Ⅱ. 2021年度 通期 連結業績予想・配当

- ・ 続いて、2021年度 通期の業績予想と配当です。

2021年度 連結業績予想・配当

- ・第3四半期までの進捗と足もとの状況を考慮し、2021年度の通期予想を修正
 - 営業利益については、サプライチェーンの混乱により、半導体価格・原材料価格・物流コストなどが期初想定以上に上昇していることから下方修正
 - 経常利益・最終利益については、第3四半期までの実績を反映し、上方修正
- ・配当金は、2020年度の30円から10円増配し、1株当たり40円を予定

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度		修正額	前回 通期予想
	通期	今回 通期予想	前年比		
売上高	2,425.9	2,520.0	+3.9%	-30.0	2,550.0
営業利益 (利益率)	83.1 (3.4%)	92.0 (3.7%)	+10.7%	-9.0	101.0 (4.0%)
経常利益 (利益率)	63.1 (2.6%)	110.0 (4.4%)	+74.1%	+19.0	91.0 (3.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	53.2 (2.2%)	85.0 (3.4%)	+59.6%	+9.0	76.0 (3.0%)
(単位:円)					
1株当たり配当金	30.0	40.0	+10.0		
平均為替レート					
ドル円	105.06				
ユーロ円	122.20				

SHARP

21

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 第3四半期までの進捗と足もとの状況を考慮し、2021年度の通期予想について、売上高を2兆5,200億円、営業利益を920億円、経常利益を1,100億円、最終利益を850億円にそれぞれ修正しております。

営業利益については、サプライチェーンの混乱により、半導体価格や原材料価格、物流コストが期初の想定以上に上昇していることから下方修正しております。一方、経常利益・最終利益については、第3四半期までの実績を反映し、上方修正しております。

- ・ 2021年度の配当金につきましては、最終利益が着実に伸長していることなどから、2020年度の30円から10円増配し、1株当たり40円とさせていただきます。

Ⅲ. 補足資料

SHARP

補足-1

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 本日、ご説明させていただきました通り、第3四半期までの実績を反映して、業績予想を見直し、最終損益を上方修正いたしました。
厳しい事業環境は続いておりますが、通期業績予想の達成に向け、全社一丸となって、取り組んでまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
売上高	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2	1,301.8	2,520.0
営業利益	29.6	53.4	83.1	39.0	53.0	92.0
(利益率)	(2.6%)	(4.2%)	(3.4%)	(3.2%)	(4.1%)	(3.7%)
経常利益	29.8	33.2	63.1	50.8	59.2	110.0
(利益率)	(2.6%)	(2.6%)	(2.6%)	(4.2%)	(4.5%)	(4.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.7	29.4	53.2	42.5	42.5	85.0
(利益率)	(2.1%)	(2.3%)	(2.2%)	(3.5%)	(3.3%)	(3.4%)

SHARP

補足-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	675.8
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3	20.6	24.8
(利益率)	(1.9%)	(3.1%)	(4.8%)	(3.5%)	(3.0%)	(3.4%)	(3.7%)
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6	25.2	33.7
(利益率)	(2.2%)	(3.0%)	(2.1%)	(3.2%)	(4.2%)	(4.2%)	(5.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6	20.8	28.3
(利益率)	(1.6%)	(2.5%)	(2.6%)	(2.0%)	(3.5%)	(3.4%)	(4.2%)

SHARP

補足-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	212.0	243.4	455.5	223.9
8Kエコシステム	227.9	265.0	493.0	276.0
ICT	162.5	180.9	343.4	162.1
ブランド事業計	602.6	689.4	1,292.0	662.1
ディスプレイデバイス	403.3	409.4	812.7	436.7
エレクトロニックデバイス	194.2	234.3	428.5	170.0
デバイス事業計	597.6	643.7	1,241.3	606.8
小計	1,200.2	1,333.2	2,533.4	1,269.0
調整額	-56.7	-50.8	-107.5	-50.8
合計	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	23.5 (11.1%)	35.3 (14.5%)	58.8 (12.9%)	24.4 (10.9%)
8Kエコシステム	7.3 (3.2%)	8.1 (3.1%)	15.5 (3.1%)	11.5 (4.2%)
ICT	7.2 (4.5%)	8.1 (4.5%)	15.4 (4.5%)	3.1 (1.9%)
ブランド事業計	38.1 (6.3%)	51.6 (7.5%)	89.8 (7.0%)	39.1 (5.9%)
ディスプレイデバイス	-3.5 (-0.9%)	5.3 (1.3%)	1.8 (0.2%)	9.3 (2.1%)
エレクトロニックデバイス	4.7 (2.4%)	7.9 (3.4%)	12.6 (3.0%)	0.3 (0.2%)
デバイス事業計	1.2 (0.2%)	13.3 (2.1%)	14.5 (1.2%)	9.6 (1.6%)
小計	39.4 (3.3%)	64.9 (4.9%)	104.3 (4.1%)	48.8 (3.8%)
調整額	-9.7	-11.4	-21.2	-9.8
合計	29.6 (2.6%)	53.4 (4.2%)	83.1 (3.4%)	39.0 (3.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9	107.3
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5	148.9
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8	82.2
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7	333.3	338.5
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4	221.8
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5	139.5
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8	297.0	361.3
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6	630.3	699.9
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0	-23.7	-24.0
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	675.8

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)
ブランド事業計	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)
デバイス事業計	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9	-4.8	-7.1
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
設備投資	21.8	69.6	91.5	30.4	39.6	70.0
内:ディスプレイ	6.4	56.6	63.1	10.4	12.6	23.0
減価償却費	29.6	33.9	63.5	31.2	48.8	80.0
研究開発費	43.0	43.7	86.7	39.9	55.1	95.0

(単位:円)

平均為替レート	2020年度			2021年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	105.92	104.20	105.06	108.80	113.00
ユーロ	119.79	124.61	122.20	129.39	128.00

SHARP

補足-8

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
設備投資	10.1	11.6	60.7	8.9	13.4	17.0	11.0
内:ディスプレイ	4.4	2.0	51.9	4.7	7.4	3.0	2.4
減価償却費	15.2	14.4	16.4	17.4	15.3	15.9	16.8
研究開発費	20.3	22.6	21.9	21.7	19.6	20.3	19.2

(単位:円)

平均為替レート	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
米ドル	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49	109.11	112.71
ユーロ	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45	128.33	128.57

SHARP

補足-9

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、8Kエコシステム(8K)、ICT(ICT)、ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

SHARP

SHARP

Be Original.

